



オシロイバナ

遠加良

おんが
議会だより

6月定例会

2011
vol.121
8月号

補正予算 2 P

予算特別委員会審査 4 P

条例 6 P

一般質問 8 P ~ 11 P

追跡!
あれはどうなった?
..... 12 P



公民館対抗ソフトバレーボール大会

正予算可決

6月 定例会

6月定例議会は、6月3日に開会し、6月16日までの14日間の会期で開催されました。提出された案件は、町長提案として土地開発公社決算など報告2件及び条例の改正や補正予算など議案11件、議員提出の発議1件です。慎重審議の結果、全員賛成で全議案を可決しました。

平成23年度一般会計補正予算は、議員全員で構成する予算特別委員会を設置し、審査を行いました。

平成23年度当初予算は、町長の交代や町議会議員選挙が行なわれるため、経常経費や継続事業費を計上した骨格予算が編成されました。そのため今回の補正予算は、事業費を主に計上されています。

当初予算60億5千万円に今回2億9千万円を増額し、予算総額は63億4千万円となりました。

歳入の主なものは、地方交付税2億909万円、国からの支出金4千370万円、県からの支出金1千741万円などです。

歳入の主なもの

●ふれあいの里センター屋根の防水等改修工事費

3,080万円

昨年度から実施している大規模改修工事を23年度も継続して進めるもの。

今年度は、屋根の防水などの工事を行う。

●町道高瀬・野中線の改良工事費

2,327万円

交通量や歩行者が多く、大雨時に冠水する危険性が高いため、道路のかさ上げを行うもの。



▲大雨のたびに冠水する町道高瀬・野中線

●太陽光発電設備設置補助事業費

175万円

個人住宅の太陽光発電設備設置を促進するため、7万円を限度に補助を行うもの。

●橋梁の長寿命化計画策定委託料

2,031万円

町内の橋梁の補修計画を策定するため、橋梁の現況調査及び計画策定業務を業者に委託するもの。

●災害時等の要援護者台帳作成費

556万円

平常時の見守りや災害時の救援・避難活動に、より迅速に対応するため要援護者台帳システムを構築するもの。

●新町南公園整備事業費

8,181万円

新町南公園の用地購入費5,490万円、公園整備費2,680万円等を計上。



▲町民の憩いの場として整備される新町南公園用地

平成23年度 一般会計補

2億9千万円を増額

●農業施設整備費

438万円

虫生津排水機場の修繕費、鬼津井堰改修調査委託料、島津・木守地区の井堰ゲート補修工事費。

●乳幼児医療費助成対象を拡大する費用

320万円

乳幼児医療費助成対象を入院費のみ小学校6年生まで拡大するもの。なお実施は、平成23年10月1日から。

●介護施設開設準備特別事業補助金

540万円

町の北部に平成23年10月1日開設予定の地域密着型グループホームに対する補助金。

●浅木小学校と広渡小学校に門扉を設置するための工事費

711万円

児童の飛び出し事故防止と防犯対策として各小学校・遠賀中学校に門

扉を設置するもので、今年度は、浅木小学校と広渡小学校に一部設置するもの。

●総合運動公園整備工事費

804万円

総合運動公園の周回道路が暗いため照明の設置及び休憩施設・遊具等の補修を行うもの。



▲夜間もウォーキング等の利用者が多い総合運動公園

●武道場床改修工事費

299万円

老朽化により床の傷みが激しいため改修を行うもの。



▲床の張り替えが行われる武道場

特別会計補正予算可決

霊園事業

482万円増

予算総額を4千832万円とするもの。内容は、霊園管理棟のバリアフリー改修を行うための実施設計委託料。

学校給食事業

350万円増

予算総額を1億4千397万円とするもの。内容は、給食の配送業務を民間に委託するための経費。

公共下水道事業

279万円増

予算総額を5億8千949万円とするもの。内容は、下水道幹線への個人住宅のつなぎ込み件数が増加したことにより新設柵設置工事費を増額するもの。

こんな質問がありました

予算特別委員会審査

Q 備蓄倉庫は町内に1ヶ所しかなく、危機管理のため、分散する考えは。

A 消防団の第2分団及び第3分団の格納庫に備蓄する計画をしている。



▲役場北側に建築された備蓄倉庫

Q 橋梁長寿命化計画の中に、橋梁の耐震診断は入っているのか。

A 耐震診断は今回は行わないが、今後検討していきたい。

Q 生活習慣病の予防を目的とする特定健診の、受診率を上げるための対策は。

A 積極的な受診勧奨に取り組み、希望者に心電図及び眼底検査を行って健診内容の充実を図る。

Q 地産地消の取り組みは。

A ウェブサイトを立ち上げ、PRしていく。その他春祭りや夏祭り等で情報発信していく。



▲地産地消プロジェクト
応援サイト「おんがめし」

町長施政方針のポイント

都市基盤の整備

- JR 遠賀川駅南地区における道路など社会資本の整備
- 遠賀霊園のトイレや管理棟のバリアフリー改修を行い、防災機能を備えた緑地公園として再整備

生活環境の整備

- 公共施設の省エネルギー化や住宅用太陽光発電設備設置補助金交付事業を展開

- 地震や水害など大規模災害に対応するため、遠賀町地域防災計画の見直し

福祉のまちづくり

- 小学6年生までの入院医療費の自己負担全額助成
- 庁舎にエレベーターを設置するなどバリアフリー改修
- 子宮頸がんワクチン接種の補助を、中学1年生から高校1年生までに拡大

生涯学習の推進

- 英語が必修科目となったことに伴い、外国人英語指導助手を1名から2名に増員
- 防犯対策・飛び出し防止のため、小中学校の門扉設置など
- カーボン艇の導入を計画的に進め、漕艇事業の推進

Q 新町南公園はどのような公園にする予定か。

A 公園の中央部にゴムチップ舗装園路を施し、周りに低木を植栽し、北公園と同じ形態にする。

Q 優れた知識や技能及び経験を有する地域の人材や社会人の積極的な活用とは。

A 小学校では書道や読み聞かせ、中学校では調理師、元プロ野球選手等をゲストティーチャーとして招いている。

特別会計補正予算審査

Q 小学校の門扉設置と学校開放との兼ね合いは。

A 生涯学習課と相談し、利用団体とも協議していく。



▲子どもたちの安全のために門扉が設置される浅木小学校校門

Q 給食の配送業務を委託する理由は。

A 衛生管理上、調理業務と配送業務を分離させたほうが良いと考える。



▲2学期から民間委託となる給食配送業務

教育施策要綱6つの柱

- 1 確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実
- 2 豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進
- 3 豊かな人生と未来を拓く生涯学習社会の実現
- 4 文化活動の振興と文化資産の保存・活用
- 5 スポーツ・レクリエーション活動の充実
- 6 人権尊重の精神を育成する教育の推進

産業の振興

- 農産物ブランド化推進事業を継続し、米や農産物のブランド化に向けた栽培・品種基準の設定
- JR遠賀川駅南地区については、開発業者や民間企業などに広く情報発信し、開発促進

開かれたまちづくり

- 第5次遠賀町総合計画を策定
- みどころガイドブック（町勢要覧）を作成

人事案件

● 人権擁護委員の推薦

(全員一致適任)

人権問題の複雑、多様化により人権擁護委員の果たす役割が重要になってきたため、1名増員する。

筋田 初子 氏 (上別府区)

契約

● 遠賀川駅自由通路設置に伴う

平成23年度実施協定の変更

1億400万円→2億2000万円

(全員一致可決)

平成23年度分の国庫補助金の交付決定を受け、九州旅客鉄道株式会社と変更協定を締結するもの。変更内容は2番ホーム上の基礎工事、橋脚架設工事、2番ホーム上屋撤去復旧工事等の増工。

条例

主なもの

● 税条例の一部改正

(全員一致可決)

東日本大震災に関して特例措置を講じるため地方税法が改正されたことに伴うもの。その内容は震災による住宅や家財等にかかる損失について、住民税の雑損控除が平成23年度から適用できるようにするもの、震災により住宅が滅失等しても住宅借入金等特別税額控除の継続適用ができるようにするもの、震災により滅失または損壊した住宅の敷地の固定資産税について、住宅用地とみなして課税標準の特例を適用できるようにするもの。

● 乳幼児医療費の支給に関する条例の一部改正

(全員一致可決)

小学校6年生までの入院の医療費について、全額公費負担することにより、子育て世帯への経済的負担を軽減するとともに子育て支援の更なる充実を図ることを目的として、条例を一部改正するもの。

7月臨時会

専決

● 税条例等の一部改正

(全員一致承認)

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴うもの。

- ・ 不申告による過料を現行の3万円以下から10万円以下に改める
- ・ 個人の住民税に係る寄附金税額控除の適用下限額を現行の5千円から2千円に引き下げる
- ・ 上場株式等の配当所得及び譲渡所得に係る軽減税率の適用期限を2年間延長する
- ・ 非課税口座内上場株式等の譲渡に係る町民税の所得計算の特例について、施行日を2年延長する

人事案件

● 農業委員の推薦

(全員一致推薦)

瓜生 正代 氏 (浅木区)
古野 修 氏 (虫生津区)

新任議員研修会



▲分厚い予算書を手に研修を受ける
新任議員

5月13日、4人の新任議員は、行政経営課の職員を講師に、平成23年度の各会計予算書の概要について研修を受けました。

一般会計及び特別会計の各予算書の見方をわかりやすく説明してもらいました。

税金などの自主財源が減少し、国や県からの交付金などの依存財源が増加している現状を知り、遠賀町の厳しい財政状況を痛感しました。私たち議員は、貴重な税金が効果的に使われているかどうかを厳しくチェックしなければならぬと強く感じた一日でした。

おんがレガッタ参加



▲遠賀郡4町の議会チームが揃った開会式

5月21日に第13回おんがレガッタが漕艇場で開催されました。

昨年に引き続き、郡内各町の議員チームや町長会チームに参加していただき、テントの中では和気あいあいの雰囲気の情報交換が行われました。

各町とも4月に改選が行われ、チーム編成が難しいのでは…との懸念もありましたが、おんがレガッタを盛り上げていただき、感謝の一日でした。

今後とも郡内の議員が連携を取り、各町のいろいろな行事に参加したいと思っています。

本会議のライブ中継が始まりました



▲本会議のライブ中継に見入る
町民の皆さん

6月の定例議会から本会議の様子が役場庁舎の会計課前のロビーで中継されるようになりました。

役場に来られた町民の皆さんも足を止めて、視聴されていました。

皆さんの感想を伺うと「たいへんいいことだ」「町民に周知されていないので、視聴者が少ない。いい試みなので、町民にPRして欲しい。このままの状態では、もったいない」との意見をいただきました。

9月の定例議会では、ふれあいの里、中央公民館でも中継を行う予定です。

まずは、このライブ中継で議会に関心を持っていただき、次に議場で直接、傍聴していただきたいと考えています。

Q

アンビシャス広場に対する町の支援は



はぎもと えつこ 萩本 悦子 議員

A

町としてどのような支援ができるのか、今後検討していきたい



元気がいっぱい笑顔いっぱいの田園区アンビシャス広場

認知症100万人
キャラバンの取り組み

議員 協働のまちづくりの一環として、認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族の方を暖かく見守り、安心して暮らせる町を住民の手でつくるために「認知症100万人キャラバン」の取り組みを提案する。

町長 この取り組みの核となるキャラバンメイトの資格をもった職員が、現在6人いるが、具体的な活動は行っていない。

しかし、認知症の状況を知ってもらうことは、大切なことだ。これらの職員を積極的に活用し、事業展開をやっていかなければならないと考えている。

福祉課長 本年度は、キャラバンメイトによる「認知症サポーター養成

講座」の開催を予定している。社会福祉協議会主催の福祉講座と連結しながら事業展開していきたい。

アンビシャス広場への支援

議員 アンビシャス広場は当初、町内4地区で開催されていたが、現在は、田園区のみでの活動となっている。この理由は…

また、各地区が、活動を継続できるように町として何らかの方策をとってきたのか。

生涯学習課長 これは県の事業で補助金の対象になるのは、週2回の開催が条件である。芙蓉区も活動しているが、週1回開催のため、補助金の対象にはなっていない。各地区が活動を中止したのは、人的配置ができなかったと

というのが大きな理由だと聞いている。現在、町としては、直接の支援は行ってはいない。

議員 アンビシャス広場は、「子どもたちの居場所づくり」と「世代間交流」の二つの大きな意義を持ち、遠賀町の子どもたちがここを利用し、ここで育っている。「県の事業だから…」というのではなく、町単独でも何らかの支援を行うべきだ。

生涯学習課長 重要な役目を担っていただいているので、どのような支援が今後できるのかをまず検討したい。

一般質問の詳細は、遠賀町ホームページ「ようこそ議会へ」に議事録を掲載していますので、ご参照ください。

一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。



かた だ しのり
堅田 繁 議員

Q

小学6年生まで通院費も無料にする考えはないか

A

入院費は10月から無料にするが通院費は今その状況にない



子育て奮闘中のパパ・ママがんばれ
(災害時に役立つアウトドア技術を学ぶ「親子でサバイバルin遠賀」会場にて)

子育て支援の充実を

議員 通院費まで含めた乳幼児医療費を小学6年生まで無料にする考えはないか。

町長 まず現時点でできる入院費の助成を10月から行いたい。通院費はその判断に至っていない状況だ。

財政支援を今後も国や県に働きかける。少子化対策の観点から言えば、全国どこに住んでいても一律のサービスを受けられるのが本来のあるべき姿だ。

議員 私は、通院費も助成拡大するべきだと質問している。判断に支らない理由は何か。

町長 時期の問題、財源の問題もある。遠賀郡内の首長さんの中でも賛否両論ある。足並みを揃えることも必要

だ。まず、一つ一つ段階を踏ませていただきたい。

議員 水巻町は小学3年生まで入・通院費無料だ。そこに合わせることはできないのか。

町長 そこに行きつくには多少時間がかかる。現段階ではこれが精一杯だ。

議員 6年生まで助成対象を拡大すれば町の費用は多くなる。試算はできるか。

住民課長 3カ年の平均では年間約2400万円だ。

議員 法律が改正され、特定防衛施設周辺整備調整交付金がソフト面にも利用できることになったことはご存知か。

町長 十分認識している。

議員 この交付金は年間いくらで、どんな用途があるか。

行政経営課長 平成22年で約4200万円。医療費に関する事業として、小学生以下の医療費、妊産婦検診などに適用できる。

議員 医療費の助成拡大にも適用できるのだから、積極的に活用するべきだ。

町長 この財源は、今、ふれあいの里の改修にも使っている。次、医療費に回すかどうかは、財政計画の中で示していく。

議員 県下で子育て支援ナンバーワンの自治体をめざすべきだ。

町長 遅かれ早かれその時期はくる。4町の足並みを揃えて一つ一つ階段を上げていきたい。

Q

小中学校の学校運営は現状で良いと考えているか



みはらみつひろ 議員
三原 光広 議員

A

第五次総合計画の中で教育環境について、きっちり精査し、反映していく



第一常任委員会の学校訪問の様子

小中学校の統廃合や合併

議員 教育環境の改善のため弾力性を持った取り組みとして学校の統廃合や合併の考えはあるのか。

教育長 町立学校統廃合検討委員会で検討され、現行の形でいくという結論が出ている。

少子高齢化で児童生徒が減少する中、各学校でメリット・デメリットはあるが、メリットを活かすことやデメリットを解消する教育施策を展開する。

町長 現段階では統廃合の考えはない。駅南開発や跨線橋の完成などにより町全体の人口増の期待が持てる定住促進の政策は可能だ。

議員 小学校は少人数でできめ細やかな教育の基礎基盤をつくるためにはこのままで良いと

思うが、中学校は生徒数の今後の増減ではなく、教育環境の改善や改良の観点から、人間形成や知力・体力の向上のため、一時的年数でも弾力性を持った合併を行うべきだ。また南中を教育委員会の拠点、様々な教育・生涯学習の場として活用しはどうか。

町長 統廃合の問題は、人口の増減を中心に協議をしてきたが、教育環境の部分において、第五次総合計画の中でしっかり議論したい。

教育長 町長から総合計画の中で論議をする旨であったので、教育委員会もきっちり精査し反映させていく。

小中学校の施設・学校運営

議員 教育環境は国や県の基準や法的なこと

もあるが、緩和や地域の特色を活用できる事もある。コミュニティスクール(学校運営協議会)制度を活用し地域・学校・保護者・教育委員会・行政が一緒になり施設・学校運営を行う考えはないか。

教育長 学校評議員制度があまり機能していなかった。まずそれを充実し学校運営に反映させる。コミュニティスクールは評議員制度充実の後の取り組みとして研究する。

議員 施設・学校運営に地域・学校・保護者・教育委員会・行政が共に取り組むべきだ。

定住や移住による人口増や住んでよかった・住みたくなる町として進捗するには弾力性や地域性・独自性をもった教育環境をつくる必要がある。



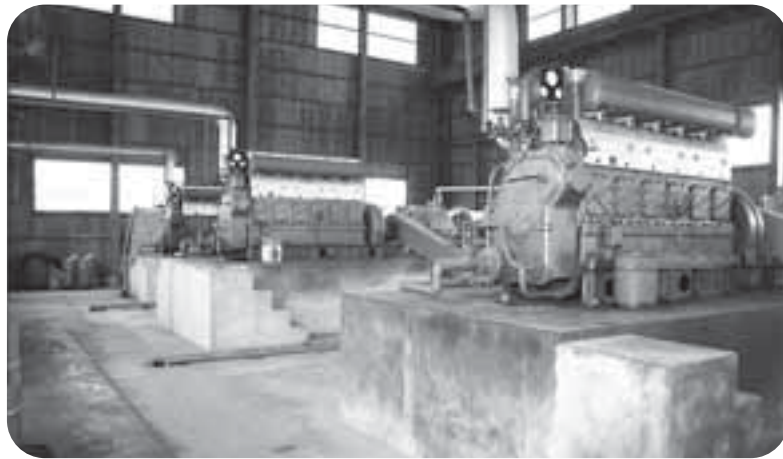
はまおか 浜岡 みるさと 峰達 議員

Q

豪雨時の水害対策は支障なくできているか

A

水害、土砂災害、津波時を想定した避難勧告伝達方法も作成し運用をしていく



整備・点検が終わった広渡排水機場

昨年の水害で教訓は活かされているか

議員 排水機ポンプは使える状態か。

町長 改修は完了し稼動している。設備が老朽化しているので県に更新を強く要望していきたい。

議員 昨年も緑光苑の道路が冠水した。冠水対策は。

町長 車道部分を約20センチ程度、延長で240メートル道路の高上げを予定。

議員 樋門のゲート操作に手動が多い。電動操作に切り替えは。

町長 予算の関係もあるので幾らかでも利用頻度の高いところには検討をしていきたい。

議員 ゲリラ豪雨の場合、ウイークポイントは何か。

町長 情報とあわせて潮の満ち引きによって

左右される、いち早い水門操作が一番ポイントかと思う。

高齢者の避難誘導をどのように考えるか

議員 避難方法を日頃から伝えておく必要があるが、どのような方法で行うのか。

町長 本年3月に災害時要援護者避難支援プランを作り、避難場所の指定は行っている。

議員 避難方法として日頃からコミュニケーションが必要と思うが。

副町長 手挙げ方式、同意方式で町に登録していただき、支援活動の個人的な計画書づくりに入っていく。

議員 早急にやるならば出前講座で伝達を検討してはどうか。

避難場所を公民館に限定せず見直しを

議員 浸水区域内に第1避難所が多数ある。高層ビルも避難場所に加えてはどうか。

町長 居住者等の問題もある。高台がある施設を今後考えていく。

議員 避難誘導の際、60代の人だと対応できるが、80代を超えると対応しづらい。高台もひとつ避難場所として設置してはどうか。

副町長 第1避難所は、局地的な浸水があった時に、一度集合してから第2避難所に揃って避難するためであると理解してもらいたい。

議員 一番心配するのは、水害時、高齢者が孤立してはならないということ、問題提起した。住民の皆さんの安心・安全な生活のため頑張ってください。



～千代丸地区の がけ崩れ～

昨年7月13日、15日の豪雨により、千代丸地区の一部でがけ崩れが発生しました。町は、所有者や隣接地権者と協議し、福岡県単独治山事業の補助を受け、総額540万円の復旧工事を行いました。

この工事では、法面に鉄筋を打ち込んで山のすべりを止め、次に草の種子を吹き付けて植生を図りました。



着工前



工事中



竣工

議会 会 日 誌

6月

定例議会

3日 本会議（開会）

7日 本会議

8日 本会議（一般質問）

9日 予算特別委員会

10日 予算特別委員会

14日 常任委員会

16日 本会議（閉会）

全員協議会

3日・16日

広報調査特別委員会

16日

7月

臨時議会

6日

議会運営委員会

6日

第一常任委員会

8日・11日

全員協議会

6日

広報調査特別委員会

6日・12日

遠賀町議会だより

発行責任者 議長 奥村 守
議会広報調査特別委員会
委員長 萩本 悦子
副委員長 平見 光司
委員 織田 隆徳
委員 仲野 新三郎
委員 加藤 陽一郎
委員 萩尾 修身

次回の定例会は **9月**です。

お気軽に傍聴にお越しください。

詳しい日程は8月下旬に町ホームページでお知らせします。

議会だよりに関するご意見ご感想をお待ちしております。

遠賀町議会事務局 TEL 293-1235
e-mail: gikaijimukyoku@town.onga.lg.jp



3月11日、東北地方を未曾有の地震と大津波が襲い、原発事故を併発し、大量の放射性物質が外部に漏れた。

豊かな自然は一瞬にして消え、故郷に帰れない避難者が9万人もいる。原発事故は取り返しのつかない大きな被害をもたらす。

誰もが、便利で快適な暮らしができる豊かさと引き換えに、底知れぬ恐怖や危機を受け入れたと言ってもよい。

本当の豊かさとは何だろうか…。

原子力発電に依存して、便利で快適な暮らしを送るのか、多少不便でも、これからのエネルギーは風力、地熱、太陽光など自然エネルギーに切り替えていくべきだろう。

人間の尊厳を守り、それぞれの命を大切にしたい、人々が生き生きとした表情で、穏やかに暮らせる社会になることを願うものである。

平見 光司